

第7次本別町総合計画策定審議会（第5回）会議

令和2年6月23日 18:30~19:36

役場庁舎3階会議室

✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓		✓			✓	✓	✓	
杉臣会長	北谷職務代理者	松元委員	橋本委員	細田委員	畝地委員	朝日委員	井出直美委員	門田委員	新津初男部会長	平田委員	佐藤委員	井出壬午委員	本間委員	山下委員	国本委員	新津直子部会長	斎委員	菅原委員	寺林委員	小林委員	式見委員	今村委員
総務部会									産業建設部会						文教厚生部会							

1. 杉臣会長あいさつ

皆さんお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。コロナウイルス感染症の関係でこうして審議会が集まることがしばらくできませんでしたが、十勝は感染者数も少なく、終息に向かって行っていることで、ようやくこうして集まることができましたことを喜ばしく思っております。本別町の未来について考えて、指針をつくる大事な会議でありますので、よろしく願いいたします。

事務局長 ありがとうございます。会長のご挨拶にもありましたとおり、本会議においては1月に開催して以降、2月、3月には部会は開催していましたが、5か月ぶりの開催ということもございまして各団体から選出されました委員さんの異動がございまして。事務局より説明させていただきます。

2. 委員紹介

事務局 議案9ページ委員名簿により説明。異動の3名の委員より自己紹介。イエドウ委員退任。

松元隆明委員 連合北海道本別地区連合の4月から就任させていただきました松元隆明と申します。職場がJP労組ということで、郵便局で働いています。働く者の立場で意見反映をしていく役割を担い、この会議に参加させていただいて、よりよい本別づくりに少しでも力になればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

寺林健治委員 北海道立農業大学校の寺林と申します。副校長でございます。この4月に着任いたしました。出身は十勝でございますけれども、色々と北海道内を回ってきております。会長のご挨拶にもございましたけれども、この会議の中で今後10年間の先を見据えた本別町の方向性、行く末を決めていく大事な会議と認識しております。気を引き締めて皆さま方と一緒に議論をしていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

式見祝賀委員 本別中央小学校に来て2年目になります。式見です。本別は3回目の勤務で、仙美里、勇足、そして本別ということで、故郷ということもあり、ぜひ、協力出来たらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

事務局 本日の出席状況を報告。

事務局長 本日の会議はコロナウイルス感染症対策として、スピーディーを意識し、かつ丁寧に進めて参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。次第の3番目の経過報告からは杉臣会長の進行でお願いいたします。

3. 経過報告

杉臣会長 それでは次第3番目の経過報告について事務局より説明をお願いします。

事務局 以下を説明

3月13日 第4回総合計画策定審議会（書面会議）

5月7日 第2回総合計画推進委員会（庁内会議）

○これまでの審議会、部会、アンケート結果、地域づくりセミナーの主な意見を報告

○総合計画書をコンパクトにして、分かりやすく、読みやすいもので、何に力をいれて取り組んでいくかを明らかにしていきたい⇒帯広のものを示されても分からない。現計画とどう違うのかを示されないと協議ができない

6月1日 第3回総合計画推進委員会

○現計画との違いを一覧で提示。また、47施策を22施策にして（案）を提示⇒施策の順番をどうするのか。何に主眼をおいてまちづくりをするのかで順番も変わってくるのではないかな

○原々案は現計画の順番にあてて提示している。施策の順番は今後の基本構想を決めてから組み立てしていく。各課で施策（案）の内容等について協議して、意見をほしい

役場庁内会議である総合計画推進委員会に提示しています施策（案）につきましては、現在担当課で修正、意見等を聴取していますので、修正を終えたものを次回の審議会にお示していきたいと考えています。

杉臣会長 今の経過報告について何か質問等ありましたら挙手をお願いいたします。特に無いようでしたら次の次第にすすめさせていただきます。

4. 協議事項

（1）第4回審議会のまとめ 議案10ページ～13ページ

杉臣会長 それでは次第の4番、協議事項カッコ1の第4回審議会のまとめについて事務局より説明をお願いします。

事務局 議案の10ページから13ページに会議録をお付けしていますが要旨については議案2ページに記載の以下のとおりです。

・将来像については「笑顔」「安心・安全」がキーワード結果となりました。

10年後の本別の姿については議案3ページに記載の意見がありました。

・基本目標については皆さんの意見がまとまりませんでした。

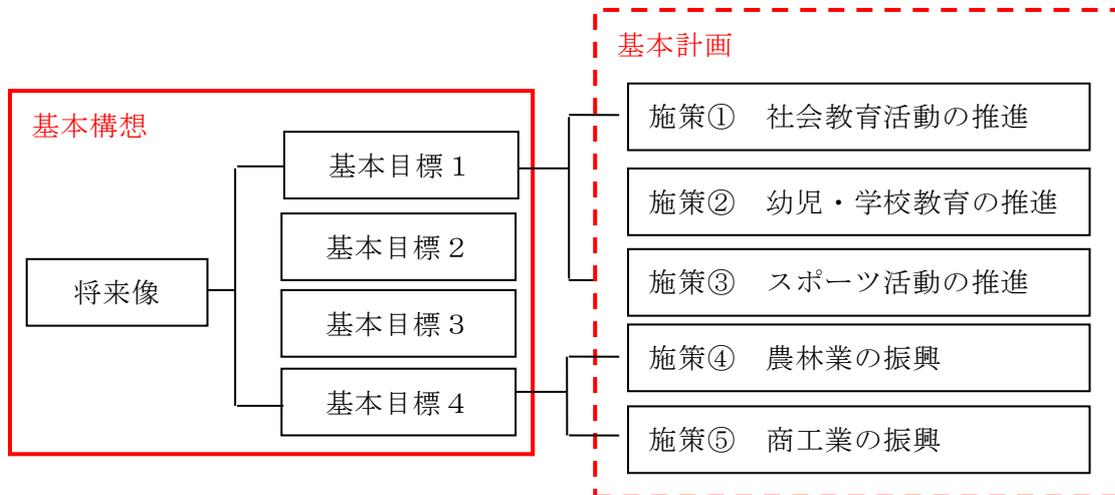
・部会意見の中に災害時要援護者支援について知りたいとありましたので、14ページから17ページ資料を添付しています。16、17ページ様式によりに個別の避難計画を作成するための個人情報収集しています。この情報をもとに避難支援者を決定して計画をつくっているのは15ページに記載の36自治会です。引きこもりがちな人の把握は高齢者、障がい者等の一部は把握がありますが、全てのものとはなっていない状況です。現在、要援護者の情報登録を3年に1度の更新時期にあたり情報収集していきますので、個人のプライバシーの関係もあり難しい部分もありますけれども可能な限り把握に努めて行きます。各委員さんよりいただいている意見につきましては各課部局に伝えてありますので、改善できるもの、ご意見として承るものということで対応させていただいているのでご理解をお願いします。

杉臣会長 今、報告のありました第4回審議会のまとめについて、何かご質問等ありましたら挙手をお願いいたします。特に無いようでしたら次に進めさせていただきます。

(2) 第5回審議会の方向性について

杉臣会長 それではカッコ2番第5回審議会の方向性について事務局よりお願いいたします。

事務局 まず、議案2ページの図をご覧くださいと思います。(下記図) 今日、審議いただきますのは基本構想の部分で赤枠の部分になります。1つに将来像、2番目には基本目標ということでは4つ明示していますが、この後の話し合いで5つ、3つと変わっていきます。



次に別紙、青色の囲みがある紙をご覧くださいと思います。今日、お話しいただくのは2点です。まず将来像です。どんなまちにしていきたいか、10年後の本別町をどのような町にして行くかということです。第4回審議会の結果では「笑顔」「安全・安心」というキーワードになりました。これまでの審議会での議論では「あたりまえに安心した暮らしを続けられること」となっています。将来像では事務局案の中から良いと思うものがあれば、それに基づきお話を進めていただく、また、これまでの部会やセミナー、アンケート結果からキーワードを選んでこのような将来像はどうかというご意見をいただきたいと思います。本日は2から3つの候補にしぼっていただき、それを基本に語路を良くしたり、言い換えることばを用いたりする作業を事務局でいたしまして、次回の審議会でご意見を伺いながら決定していきたいと思っています。

2つ目につきましては基本目標の設定ということで、今日、お話しをいただきたいことは産業、医療、福祉、教育などの分野をどのように括って、いくつにしたら良いかというところまで決定いただきたいと思います。別紙の中段に①から⑤まで記載していますが、議案の5ページに「区分け案について」①から④まで記載しています。①では5区分に、②ですと3区分にするということを表しています。この区分けの羅列ですが将来像によっても変わってくると考えています。何に重点を置いて取り組んでいくか、基幹産業の農業を柱としていくということであれば、農業が最初に掲げられるということと考えています。今日はどのように分類して何区分にするかというところまでお話しをいただきたいと思っています。仮に4区分にしようということになりましたら、事務局で案をつくりまして、次回の第6回審議会では協議をしていただきます。そして、第7回審議会では基本目標を決定していきたいと考えています。

杉臣会長 説明のありました第5回審議会の論点と今日決めていくべき事について、何か聞いておきたい点とか、意見がある方の挙手をお願いします。特に無いようでしたらこのままの内容で進めて行きたいと思いますがよろしいでしょうか。(はい)

(3) あたらしい総合計画の将来像について

杉臣会長 それでは次にカッコ3番目のあたらしい総合計画の将来像について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 議案の2ページをお願いします。(下記項目)事務局案を10個示しています。⑥までは第4回までの審議会で示させていただいたもので、第4回の意見により⑦以降を付け足しています。この事務案から選んでいくのか、委員会から別の将来像の意見をいただく、またはこのようなキャッチフレーズ、キーワードを使うべき等についてこの後、ご意見をいただければと思います。当日配布資料ということで2枚物の右上に赤字で表示したものをお付けしています。10個の事務局案についてそれぞれどのような意味が込められているのか、10年後の姿像として表示しています。①であれば、本別というまちに誰もが誇りを感じて、みんなで力を合わせて、次代の人たちに継承していくまちづくりが行われています。ということ姿像として表現しています。文言については町民憲章前章を参考にしています。カッコ書きについては何を主に施策を進めていくか、ということを表しています。ここで言う「持続可能」「教育文化」「子育て」が主になってくるかと思えます。②以降も同様になっていまして、②で言いますと産業が中心になってくるかと考えます。これは本日配布資料ですからまだ目を通していない方もいらっしゃると思いますので少し時間を取りたいと思いますが、事前に案を考えてきていただいた方がいらっしゃいましたら、発表いただければありがたいです。それらの議論から3個程に候補を絞っていきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。

事務局案 (⑦以降追加)

- ① 本別プライド ～誇りと責任をもち ころと力を合わせて 次代につなぐ～
- ② マメで まじめで 堅実で =ひとつずつの積み重ね=
- ③ あずましい 暮らし ほんべつ
- ④ ほっこり あったか 笑顔あふれるまち
- ⑤ いいね いいな いいよ ほんべつ
- ⑥ 自分らしく ここに生きる しあわせ
- ⑦ すべての人が いきいき笑顔で 暮らすまち
- ⑧ 安心して生活できる 田舎まち
- ⑨ きらめく 笑顔あふれる まち
- ⑩ みんなが しあわせに 暮らすまち

役場職員意見

- ① いいね いきいき笑顔で 暮らすまち
- ② きらめく笑顔 あふれる幸せ いきいき本別

参考：第6期計画将来像 [ともに学び](#) [支えあい](#) [活力のあるまちづくり](#)

杉臣会長 新しい総合計画の将来像について、事務局案で出ていますけれどもここから何かをピックアップするのか、それとも何か他に良い案があるのか等、ありましたらお願いいたします。他に何かご自分で考えて来ていただいたものがあればご意見をお願いいたします。

委員 ちなみに前回計画はどんなものでしたか。

事務局 第6次総合計画は2ページ(上記)の青い字で書いてあります「ともに学び 支えあい 活力のあるまちづくり」です。他に議案の6ページから十勝管内の市町村の将来像と基本目標

を記載しています。参考にご覧いただきたいと思います。豊頃町のものは入手できませんでした。事務局で10個の提案をしておりますが、これはニュアンスが違うと思うのがありましたら消去法で進めて行きたいと思います。

委員 前計画で提案して却下されたのだけれど「オアシスのまちづくり」ということで、心のオアシス、住んでいる人たちにとってもオアシスであるし、他から来る人にも安らぎを与えるオアシスということで、今回も案を出したいと思う。

事務局 「オアシスのまち ほんべつ」でよろしいでしょうか。

委員 砂漠の中のオアシスみたいな感じで、住む人も、他から来る人にとってもそうだし、潤うまち。一番大切なのは心安らぐということ。余計なことを言ったかもしれないけれど、こんな感じで。

杉臣会長 いいえ。オアシスのようなまちということではイメージがつくと思います。ただ、かなり広い意味合いを持つことになるかと、逆にその広い意味合いを前に出すということであればそれを生かすということもあると思います。

委員 確かに広い意味合いかもしれない。もう少し具体的にしたほうが良いかもしれない。それで前回、却下されたのかも。

杉臣会長 でも、めざす方向性としては間違いではないと思います。

他に意見が無いようですので私から意見を言わせていただくと、本別町は豆のまちということで②番は本別町らしさが出ているという気がいたします。

かしこまらずに、どんどん意見を出していただけたらと思います。他に何かご意見はありますでしょうか。

事務局 事務局からの提案になりますが、合言葉的な目標ということで、町民のみなさんが覚えやすく、合言葉として使えることが浸透していきやすいのかと思います。事務局で良く話をしていることの中に短いことばで有名になっているものとして、昔に横浜市がつくった「みなとみらい横浜」というものがあります。このフレーズによって横浜をイメージすることができると。語路も良いということもありまして、いかに皆さんに受け込みやすいといえますか。議案の6ページの十勝の市町村の将来像もそうなのですが、意外と似ているものが多く、差別化することは難しい部分もあるのですが、会長も言われましたように本別らしいもの、みんなが落ち着くねと思えるものを作ることができればと思います。

事務局 これは要らないというものも意見をいただきましたら。

委員 ⑧番ですけれども、田舎まちということば、確かに人口が減っているということはありませんけれども、それを前面に押し出す必要はないのではないかと思います。

杉臣会長 ありがとうございます。確かに田舎まちだということを出す必要はないのかもしれないですね。

委員 笑顔というワードがたくさん出ていていいと思うのですが④番と⑨番のニュアンス的には同じ感じなのでまとめても良いのではないかと。

委員 役場職員意見の「いきいき本別」ということばは何かしっくりくる。どこかにこのことばを用いたら良いかと思います。

杉臣会長 語路もとても良いですし、覚えやすいところはありますね。

委員 他の市町村を見ると語尾に自分のまちの名前を入れているところと、入れていないところがあって、入れていない方が若干少ないのですが、本別の場合、入れた方が良いか、入れない方が良いのか、本別としてどう選択をすべきかと思ったのですが。

杉臣会長 今のご意見は最後に本別というワードを入れるべきか入れないべきか、入れるのであれば幾つかある事務局案の中に上手く、混ぜ込むということもありますし、入れないと選択するのであれば自由に本別らしいというものをつくるということになるのだと思います。今のご

意見に皆さんから何かありますでしょうか。例えば⑧番の「田舎まち」の部分に「いきいき本別」というワードを入れることもできるかと思えます。「ほんべつ」というワードを入れるべきかどうかについてご意見はありますでしょうか。

委員 無理に入れなくてもいいのではないのでしょうか。他の語句も制限されることになるし、こういう時代だから、明るくて、暖かいものが良いかと思う。

事務局 前にくることばによっても変わってくると思えますね。

委員 事務局の案で一番先に書いてあるものが一押しなののでしょうか。

事務局 これも文が長いということもありまして、事務局で話している中では順番を入れ替えて「本別プライド」をもってきて、誇りを持ち 力を合わせて 次代につなぐ ～本別プライドとかはどうかとも言っています。

委員 良いことばだと思う。

委員 「きらめき」とか「笑顔」とか多く出ていますね。自分として少し考えてみたのですけれども「きらめく生活 笑顔で暮らせるまち ほんべつ」と。自分の生活が輝いていなければ、笑顔で暮らせないのかなと思って、色々なものを見て合わせてつくって見たのですけれども。

事務局長 「きらめき」ということばを昔から本別はみなさん馴染みが深いですよ。きらめきタウンフェスティバルもありますけれども、町民の皆さんに浸透していますね。

委員 ③番の「あずましい」というのはみんなが知っていたり、使っていることばでは無いのではないのでしょうか。これは無くても良いのではと思います。

委員 私たちの年代は分かるけれども。

委員 小さいお子さんとかは、「あずましい」だの、「あずましく無い」だのって、言わないのではないのでしょうか。第4回の紙面会議資料にも書いてありましたけれど、北海道弁は使わない方が。

委員 先ほど話のあった「みなとみらい横浜」のように語路の良い感じで行くのであれば「きらめき」というワードを前面に押し出して単純に「きらめき タウン ほんべつ」という線ではいかがかと。

杉臣会長 短いけれどもインパクトはありますよね。

委員 語路も良く、ロゴもつくりやすいかと思えます。

杉臣会長 これまでの意見をまとめると①番は少し長いのではないか、「本別プライド」ということばは良いですね。②番は「マメ」ということばが本別らしいのでは。③番は「あずましい」ということばは馴染みがないのかもしれないので入れなくとも良いのでは。④番については⑨番とニュアンスが同じなのでまとめても良いのではないか。⑤と⑥と⑦についてはまだご意見をいただいていないところで、⑧番については「田舎まち」はいらぬのではというご意見でした。⑩番もご意見がなくて、役場職員意見では「いきいき本別」ということばがとても馴染みがあるのではないかというようなご意見があったのと「きらめく生活 笑顔で暮らせるまち本別」というような将来像をつくっていただいた方もいらっしゃいました。あとは「きらめきタウン ほんべつ」と短くインパクトのあるスローガンが良いのではないかというご意見が今のところ出された状況だと思います。他に何かありますでしょうか。

委員 いまの「きらめき」ということばもそうですが、「ナイト」ということばも本別の中では馴染みがあると思います。夜でかけナイトであったり、豆まかナイトもあるのですが、この2つを合わせて「きらめかないと」みたいなものはどうかと思います。本別には馴染みのあるものだと思います。

杉臣会長 自分たちで活路を開かなくてはというようなニュアンスが入ってきますね。「きらめかないと！」

最終的には2、3本に絞りたいということですよ。

事務局 そう思っていました、先ほどいただきましたキーワード「きらめき」を使ってつくるといことで皆さんから同意をいただければ、事務局で複数案をつくって次回の審議会で決めていただければと思います。

事務局長 もう少し絞って、厳選していただいて、後は次回で皆さんに補正をいただくイメージで。ご意見いただいた「笑顔」だとか「きらめき」「いきいき」、それから「ほんべつ」ということばが入った方が落ち着くという印象を受けたのですが、語路によってもそのあたりは違ってくることもありますので必ずしも入れる必要は無いかというご意見もありましたので、今、キーワードがいくつかありました。それらに概ね絞れてきたのかと思います。「田舎まち」「あずましい」など馴染まない部分はスッパリ削っていくべきと捉えているのですが、違うという事でありましたらご指摘をいただければと思います。

事務局 先ほど「田舎まち」を前面に出す必要がないということでありましたので⑥番も同じような内容になっていまして、説明に「田舎まちではあるけれど」ということで、これも同じと考えて削除ということではいかがでしょうか。

杉臣会長 ⑥番ですね。

⑤番はどういうところからこのような表現になっているのでしょうか。

事務局 思い付きはフェイスブック等の「いいね」評価からであったのですが、語路が良い語句を並べてみたのと「良いなと感じて住んでみたら良いところだよ」というふう発展していつて、良いところを発信していくという意図でつくってみました。

委員 この将来像については小学生くらいから話せるようなことばであって、理解もできるようなものになっている。小学生のうちから本別に関心をもって、記憶に残って、大人になってもその心を持っている。そのような「やさしいことば」というか、あまり難しくなくて。そうすると⑤番、「いいね いいな いいよほんべつ」が語路的にも小学生1年生にも理解を得られるのかと。そういうのが1つあっても良いのかと思う。

杉臣会長 広い世代で共有できるものが良いということですね。

委員 そうですね。本別で生まれて本別になるべく留まってほしいと思うときに、幼い時からそのような気持ちというか、郷土愛というものを分かっている欲しいなという気がします。

杉臣会長 今のご意見を考えると、逆に小さな子にこれは難しいのではないかとすることはありますでしょうか。例えば①番、本別プライドは難しいですね。

委員 そうではなくて、選択する3つのうちのひとつに、やさしい、わかりやすいものがあったても良いのではないのでしょうかという意味です。

杉臣会長 わかりました。

それではニュアンスが似ているということで⑦番と⑩番もまとめても良いのではないかと思います。

事務局 これで10個の案すべてに意見が付きましたね。

事務局長 委員の皆さんは事務局が作った案に対してお気遣いいただいて、これはダメだとは言いつらいと思うのですが、先ほども委員さんからありましたように、もともと総合計画は「中学生が見ても理解してもらえる」というのが一つの目標としてありました。合言葉ということもありますので、先ほど委員も言われていた、出来れば幅広い世代で、皆さんに理解いただけるものを考慮しながら、これまでアンケートで出されていまして、「きらめく」「笑顔」「いきいきとする姿」を中心に、同じ内容の案もありますのでミックスして、コンパクトにわかりやすいものに濃縮して2つから3つの案にしていきたいと思います。今日、具体的にお示しはできませんけれども外すべきワードもありましたし、似たようなものをまとめる、同じことの繰り返しの部分では整理をするということで事務局で進めていきたいと思っています。

委員 私は役場職員の意見の「いきいき本別 きらめく笑顔 あふれる幸せ」これが良い表現で

的を得たものになっていると思います。これにワクワクが欲しいと。夢というか先に向かって、本別町が発展して行くのだという、農業にしても他のものにも未来が見えて、ワクワクする気持ちがあるイメージを付け加えて「いきいき わくわく きらめきタウンほんべつ」みたいな形のものにならないかなと思うのですけれども。

杉臣会長 ワクワクというようなニュアンスのことばが欲しいということですね。

委員 そうですね。欲しいです。

杉臣会長 他に何かご意見はありますか。

委員 先程も出ていたけれども、アンケートでは中学生や高校生が本別に帰ってきたくないとか、出たいとかになっているけれども、浦幌町の地域資源や良さを学ぶ講習に参加したことがあるのだけれども私も感動して将来浦幌に住みたいなと思った時期もあったぐらい。だから幼い時から子どもたちに本別の素晴らしさを理解してもらい取り組みを実施するために、本別の良い所を把握してもらい取り組みも良いのかと思う。

杉臣会長 ありがとうございます。それでは今までいただきました意見を集約して、新しいキーワードもありましたし、これは無くすべきという意見もありましたので、それらを加味して事務局で新たに練った案を次回の審議会までに出していただくということによろしいでしょうか。(はい) 事務局よろしいでしょうか。(はい) そうしましたら新しい総合計画の将来像については以上としまして、カッコ4の新しい総合計画の基本目標について事務局からお願いします。

(4) あたらしい総合計画の基本目標について

事務局 議案5ページになります。基本目標の施策等の括り、分けをどのようにしていくかということでの提案、ご意見をいただきたいと。先ほどの将来像では「いきいき本別」「きらめきタウン本別」「わくわく」というワードを出していただきました。これまで方向の「安心生活」とは違ってきていて産業だとか、教育施策が前面に出てくると思います。将来像が決まることによって施策の順番も変わってくるようになります。事務局では5つぐらいに分けた方が整理をしやすいかと考えています。この後、委員の皆さんからご意見をいただきたいのですが、考えて来られた方のご意見や大きく3つぐらいの括りで良いのでは等のお話をいただければと思います。事務局でこの施策はこの分野に入る等の区分けをしています。決まってくる将来像によって変更する必要が生じてくるものもあるかもしれません。今現状でどの程度の区分に分けていくべきかのご協議をいただきたいと思います。具体の文言につきましては次回と、その次の第7回審議会で協議し、決定していきたいので、よろしく願いいたします。4つに分けても、5つに分けてもそう変わらないのではないかとのご意見もあるかもしれませんが、将来像を補完することばを並べる形になりますので、ご意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

杉臣会長 今の事務局の説明を踏まえまして基本目標をどのように区分するかについて何かご意見はありますか。事務局では5つぐらいに分けることが妥当ではないかということでありましたけれども。

事務局長 議案の6ページから8ページに十勝管内の市町村の基本構想、いわゆる合言葉が書いてあります。だいたい他のまちも5つの分野ぐらいに分けているのが多い状況です。少し多いのが更別村さん、浦幌町さんの6つだったり、帯広市さんが4つになっています。6ページの陸別町さんでは産業分野を1番にもってきています。2番目に福祉、3番目にインフラ整備、4つ目に教育分野、5つ目に地域コミュニティと分けられています。足寄町さんでは1番目にインフラ整備、2番目に医療・福祉、3番目に教育分野、4番目に産業分野、5番目に地域コミュニティとなっています。

委員 事務局からの案では5、3、6、4と区分がありますけれども、本別町の未来を語るにあ

たつて3区分、4区分では分けられないのではないかと、大雑把になってしまうのではないかと
 思いますので、5区分、6区分が妥当で、事務局提案の5区分で良いのではないかとおもいま
 す。

I. 区分け案について

①産業、福祉・医療、生活環境、教育・子育て、町政【5区分】

農業 林業 商工業 観光	福祉（高齢、障が い、生活困窮） 自治会 健康・医療	衛生 地域交通 道路・公園 水道 防災 環境 移住定住	教育 スポーツ 子育て 伝統文化
			行財政 地域交流 男女共同参画 若者活躍

②安心、暮らし、教育・文化【3区分】

健康・医療 福祉（高齢、障が い、生活困窮） 自治会 地域交通 防災 衛生 移住定住	農業 林業 商工業 観光 環境 道路・公園 水道	教育 スポーツ 子育て 伝統文化 行財政 地域交流 男女共同参画 若者活躍
---	--	--

③医療、産業、福祉、安心安全、教育・子育て、暮らし【6区分】

健康・医療	農業 林業 商工業 観光	福祉（高齢、障が い、生活困窮）	自治会 地域交通 防災 衛生 移住定住
教育 スポーツ 子育て 伝統文化		環境 道路・公園 水道 行財政 男女共同参画 若者活躍	

④安全安心、産業、教育・子育て、暮らし【4区分】

健康・医療 福祉（高齢、障が い、生活困窮） 自治会 地域交通 防災 衛生 移住定住	農業 林業 商工業 観光	教育 スポーツ 子育て 伝統文化	環境 道路・公園 水道 行財政 男女共同参画 若者活躍
---	-----------------------	---------------------------	--

杉臣会長 ありがとうございます。今、ご意見のありましたとおり、本別町の未来を語るのに3つ4つは少ないのではないかとご意見がありましたけれども、逆にもう少し増やすべきだとか、あるいは少ない方が覚えやすいとかのご意見がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。これは今日、決めた方が良いでしょうね。(はい)

事務局 先程いただきましたご意見で5または6区分に分類するというところに、皆さんの同意がいただけましたら、案を作成していきたいと考えています。

委員 5つに分類することにして、この後、具体の施策が決まってくる時に不足するようであれば、6つにするということではどうでしょうか。

杉臣会長 この段階で具体的なイメージを持つことは難しいかもしれませんね。作成していく段階で「5つが良いですね」とかは決まってくると思います。そのような決め方でよろしいでしょうか。(はい) それでは5つで決めて、作成していく中で足りなければ6つに増やすということにします。

(5) その他

杉臣会長 それでは最後にその他を事務局からお願いします。

事務局 失礼ですが前の項目の区分けに戻らせていただきまして説明を追加いたします。事務局案の①二つ目の区分に「自治会」とあります。これは振り分けた時に自治会は福祉活動を多く担っていただいているということで、例えば災害時要援護者ですとか高齢者の見守り活動ですとか。その面が強いと判断してこの振り分けをしています。将来像や施策の書きぶりによっては5番目の「町政」の部分にも入ってくるかと思しますので、お示ししたものが多少変わってくることもあろうかと思えます。

それではその他の説明をさせていただきます。今後の日程です。2つありましてまず、1つ目です。先程も見いただきました別紙をご覧ください。本日の会議は赤枠で囲った部分です。次回第6回は7月の中旬を予定しております。本日ご協議いただきました結果により事務局で案を作成いたしまして、将来像を決定いただきたいと思えます。基本目標について審議をいただきたいと思えます。そして、第7回で基本目標を決定いただきます。第7回審議会につきましては8月上旬を予定しています。その下にパブリックコメント、町議会への説明を8月と記載していますが、臨時議会が8月7日と決定しまして、日程的に難しいことから、9月定例町議会に議員協議会を開いていただいて説明をしていきたいと考えています。その後パブリックコメントに入っていきます。その下からは予定どおり、パブリックコメント結果を受けての審議会開催、杉臣会長から町長への答申、12月定例町議会に提案していくことを予定しています。

2点目です。SDGs（エスディージーズ）の講習会を7月16日か17日に開催していきたいと考えています。現在、講師と日程調整を行っておりまして、決まりましたらご案内させていただきます。SDGsはこれまでの審議会概要説明をさせていただいておりますが、総合計画の中に取り入れていきたいと考えています。

杉臣会長 それでは本日、審議いただくことは全部終了しました。これをもちまして第5回本別町総合計画策定審議会を終了します。お疲れ様でした。